

奈良東ロータリークラブ様より支援金をいただきました

2019年度の各競技会参加及び会場・用具等の経費に、奈良東ロータリークラブ様より818,110円の支援金をいただきました。有り難うございました。また、会員の皆様に競技会等へのボランティア参加もしていただき、充実した大会となりましたことを感謝致します。(胎中晴美)



岩本会長 田中理事長

パイロットウォーク 10.6



毎年恒例の奈良パイロットクラブ主催のパイロットウォークに、アスリート・ファミリー・コーチ11人が参加しました。

1部の「歌って歩いて健康づくり」では、ピアノに合わせて歌を歌ったり、好きな楽器を持って鳴らしたりして、アスリートたちはとてもよい表情でした。

2部の「ウォーク」では、アスリートたちが持った旗・プラカードを先頭に参加された方々と一緒に行進しました。

半日という短い時間でしたが、アスリートたちのやりきった達成感が表情に出て、とても素敵でした。

2019年 スペシャルオリンピックス日本・近畿ブロック 認定コーチ研修会 11.16 大阪府立大学 I-site なんば

最初に、井上幹一ナショナルトレーナーと菊雅章バスケットボールコーチより楽しくできるトレーニングの研修があり、次に、よりよいトレーニングについてプログラムごとに地区を越えて話し合いました。最後に、吉井泉SON理事より熱中症や視覚などの安全な活動への配慮点の研修があり、明日からのプログラムに活かせる知識やスキルを得ることのできた有意義なひとときでした。

奈良YMCAインターナショナル チャリティーラン2019

10.27 平城宮跡

個人マラソン(5km)に、陸上プログラムのアスリート4人、コーチ1人が参加しました。団体宣言駅伝に、陸上プログラムのアスリート・ファミリー、競泳プログラムのアスリート、バスケットボール(田原本)プログラムのアスリート・コーチ・ファミリー、20名(4チーム)が参加しました。

個人では、小泉達さんが青年男子の部3位に、団体では、バスケットボール(田原本)チームが「三菱賞」を受賞しました。

(小泉明美コーチ)



NPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良 2020年度 第1回 社員総会 2.16

①事業報告及び活動決算について②前事業年度の役員状況について③活動計画及び活動予算について④定款の変更についての審議が行われ、承認されました。

～寄付金・賛助金のお願い～

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良の活動は、皆様方の寄付金・賛助金等によって運営されています。この活動への皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

【賛助会員】 ●個人：年間1口3,000円 ●法人・団体：年間1口10,000円

振込先：NPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良
郵便振替：00900-8-172912

編集後記

SON・奈良の輪が少しずつ広がっていることを実感しています。アスリートさんが長く続けられるように、できる事を一つ一つしていきたいと決意を新たにしたい今日この頃、プログラムの再開が待ち遠しいです…

(仲川宏美)



ニュースレター

Dream

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・奈良

2020年4月24日発行 Vol. 35
NPO法人 SON・奈良事務局
〒631-0811 奈良市秋篠町1381-1
オープンスペース 'AYUMI' 内
Tel : 0742-53-0511
E-mail : nara@son.or.jp
発行責任者：仲川宏美

ユニス・ケネディ・シュライバー・デー

9.29 大和郡山市 九条スポーツセンター 体育館

スペシャルオリンピックスの活動の歴史と意義をいろいろな方々に知ってもらうことを目的に、奈良県人権擁護委員会の9人の方々と各プログラムのアスリートたち、計55人がチームを組んで、SOポッチャ競技を行いました。

誰もが楽しめるユニバーサル競技

のポッチャで、ふれあい、協力し合うことで、SOの事をより深く知ってもらえる機会となりました。

(胎中晴美)

※奈良県人権擁護委員連合会の冊子「じんけん奈良」No.35でこの日の様子を記載して、広く多くの方に知らせていただきました。



サンキューパーティー

2.16 オープンスペース'AYUMI'



「日頃各プログラムでお世話になっているコーチや事務局の方々へアスリートから感謝の気持ちを伝えよう」ということで、今回数年ぶりにアスリート委員会主催で実施しました。アスリート28人、ファミリー10人、コーチ・理事42人の計80人が参加しました。

プレゼントに「いつもお世話にな

りありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。」と書いたメッセージをつけて、それぞれのコーチたちに渡しました。その後の会食もアスリートたちで企画・準備して、楽しいひとときを過ごしました。

(胎中晴美)

「おまじない」
ある人にさまざまなるスポーツトレーニングと、その成果を発表する競技会を提供しているNPO法人スペシャルオリンピックス日本・奈良(田中敏彦理事長)の「サンキューパーティー」がこのほど、奈良市秋篠町の「オープンスペースAYUMI」で開かれた。写真。○：活動に参加するアスリートから、競技を指導し共にスポーツを楽しむボランティアコーチへ、感謝を伝える催し。アスリート委員会のメンバーが事前の企



画から当日の運営なども行った。本紙の甘利治夫主筆も出席した。
○：水泳、バスケットボール、ボウリング、陸上競技、ポッチャ、スノーシューイング(スノーシュー)西洋カンジキを履いて雪の上を走る競技)のボランティアコーチと活動を支える事務局スタッフに、アスリートが感謝のメッセージとタオルを贈って記念撮影。スノーシューイングコーチの森本貴彦さん(大和郡山市)は「自分の力を発揮しようと頑張るアスリートの姿に共感して活動を始めた」と話した。

奈良新聞(3月4日)

2019年 スペシャルオリンピックス日本・奈良 地区大会



SOボッチャ 9.29

大和郡山市 九条スポーツセンター 体育館

たくさんの応援の中、5人のアスリートが2つのディビジョンに分かれて試合を行いました。SOボッチャを始めて3年が過ぎ、上達しての競技会、終了後は「もっと練習して、上手になりたい」と次を目指すアスリートたちでした。

(藤川和美コーチ)



感想

昨年引き継ぎ、2回目の参加です。今年初の優勝を喜びました。昨日は少しは楽しめました。いい経験になりました。
坂野文香



ボウリング 10.20

トドロキボウル

競技会は奈良のアスリート8人のみでしたが、体験プログラムに参加して下さった他のプログラムや奈良東ロータリークラブと秋篠婦人会のみなさんの応援で盛り上がりました。

体験プログラムに参加された方からは「また声をかけてほしい」という感想をいただきました。普段、こじんまりと活動しているボウリングですが、競技会を目標の一つとして、さらなる高みをめざしていきたいと思います。(野口悦代コーチ)



感想



メダルもら、アツいしきり。みんなにみせれた。
喜屋晴子



陸上 11.10

天理大学 体育学部 グラウンド

競技は、トラック種目・フィールド種目・4×100mリレー、ボランティアの方を交えたユニファイドリレーを行いました。ボランティアとして、奈良東ロータリークラブの方々、奈良大附属高校と天理西中の生徒さん・先生、昨年度もお手伝いいただいた陸上経験者の方々にお手伝いいただき、準備や運営をスムーズに進めることができ、大会を盛り上げていただきました。天気にも恵まれ、アスリートはそれぞれの持てる力を発揮して、全力で臨み、自己ベストを出したり、笑顔でゴールしたりとそれぞれが輝いた大会でした。初めて接するボランティアの方とも、一緒に競技をしたり、サポートをもらったりすることで交流が深まり、笑顔いっぱいの大会となりました。

(齋藤あゆコーチ)



感想

天理大学に行き、100m走りました。楽しかったです。光野マコ



競泳・バスケットボール 11.25

大和郡山市 九条スポーツセンタープール・体育館



SON・和歌山のアスリートも参加していただき、とても盛り上がりました。今年は特にユニファイド形式でリレーを行い、奈良アスリートチームと和歌山アスリートチーム、コーチチームで競い合い、デッドヒートでとても盛り上がりました。

今回初参加のちびっ子アスリートたちも大会の雰囲気にもより少し緊張した様子でしたが、楽しく泳いでいました。九条プールは、サイドにミニプールがあって、アスリートが待ち時間をそこで楽しく過ごせるのがいいと思います。待つことが難しいアスリートも気持ちよく楽しむことができました。

今回初めて表彰台が導入され、今まではメダルを手渡ししていたのが表彰台でいただけるようになりました。胸を張ってメダルをかけてもらっている姿は今まで以上に輝いて見えました。アスリートたちの励みになり、メダルの喜びが倍増しました。(塚本恵美子コーチ)



感想

今回初めての出場で不安もありましたが、いつも以上にがんばる姿が見れて、とても嬉しかったです。本格的な記録会で本人も緊張したと思いますが、いい経験ができて、成長できたと思います。金メダルにこだわる姿には驚かされましたが、そのような一面があることに気づくことができました。

(岡本龍樹ファミリー)

練習では、ふざけて真面目に泳いでいないことが多々あり、しっかりと泳げるか不安でしたが、本番は、一生懸命、真面目に泳いでいる姿を目の当たりにし、感動しました。道瀬が、しっかりと成長していることを確認できて、本当に嬉しい思いです。幼い頃からプールが大好きだったので、これからも成長してくれることを願います。

(権道瀬ファミリー)

今大会も、奈良大学と奈良学園高等学校バスケットボール部の皆様のご協力のもと開催することができました。

アスリートは日頃の練習の成果を、この年に一度の大会において、チーム競技や個人戦で十分に発揮することができたと思います。

私自身、アスリートに対する声かけやサポートをどのようにすべきか模索しながら大会を迎えましたが、普段とは違う環境の中でもがんばっているアスリートの成長を見ることができ、心を打たれただけのようサポートしていきたいと考えます。

(高大晴彦コーチ)



感想

奈良大会はがんばりました。シュートも良かったです。楽しかったです。バスケットボールは大好きです。ユニフォームが気に入りました。和田亮



スノーシューイング合宿 2.1

滋賀県 朽木村

今年も暖冬で雪がほとんど無く、残念でした。裏山で走れるコースを見つけて、スノーシューの着脱、坂道でのランニングをしました。

アスリートたちは自分でお布団をひいたりして、仲良く過ごせました。食後は恒例のトランプ大会をしました。昨年に比べ、ルールをしっかりと理解して楽しめたように思います。

2日目は施設のスタッフさんに教えていただいたコースを歩いてみました。少しだけ雪が見られて、スノーシューの合宿気分を味わえました。

第7回冬季ナショナルゲーム北海道のために日々練習に励んで合宿にのぞみましたが、大会が中止になり、残念でした。次の大会を目指して、また練習を頑張りましょう。

スノーシュープログラムは新しいメンバーを募集しています。合宿も楽しいですよ！興味のある方は事務局まで問い合わせください。

(田中康子コーチ)

